

夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！① レポ

青木 幸子

7月18日(土) 9:00~12:00

毎年夏休みになるとたくさんのご家族に参加していただき、親子&スタッフで賑やかに実施していたイベントだが、今年は最初から様子が違った。新型コロナウイルス感染症がまだ収束の見通しがつかないどころか、東京を中心に全国で日増しに感染者数増加のニュース、第二波か！という中での実施となり、万全の対策が求められた。

- *まず第一にいわゆる「3密」を避ける
- *食べ物を扱うプログラムは行わない
- *スタッフおよび参加者の検温の実施
- *マスクまたはフェイスシールド等の着用
- *手洗い場には手指消毒用薬を設置
- *複数の人間が触れる可能性がある箇所は消毒
- *共用で使用する道具・用具の消毒
- ・・・等々。

また、集団での飲食を避け、長時間のイベントとしないということで、例年は飯盒炊爨はんごうすいせんを挟んでの一日イベントであったが、今回は参加人数も大幅に減らし、午前中のみで実施した。

7月2日にスタッフ募集、すぐに27名が応募してくださった、ありがたい。参加者募集については、奈良県のイベントブックの発行が中止となったため、当会のホームページでのみの募集となり、申し込みがあるかどうかの心配もあったが、5家族20名の申し込みがあり、コロナ禍の中での開催としては適当な参加人数となった。

次に心配なのはお天気だ。梅雨前線の停滞で九州を始め各地で記録的な豪雨になり、甚大な被害が出ている。奈良も7月初めからずっと梅雨空が続き雨ばかり。イベント前日も雨！さて当日は、降水確率 30/10 やれやれよかった。

朝8時スタッフ集合、手際よくテントを立て、

準備万端整えて参加者を待つ。5家族が次々受付に来られる。検温しマスク着用を確認。小さな子どもさんもマスクをしている。全員平熱で元気そのもの。よかった。



開始時点では少し時雨れて心配したが、その後は徐々に天気も回復し、なんと何日ぶりかで太陽も顔を出し、絶好のイベント日和になった。開会の挨拶、諸注意などを受けて、さあイベント開始。

第一部、里地での活動(昆虫観察&植物観察)。虫かごと捕虫網を持って蝶やトンボ、バッタを追いかける。親も子もスタッフも追いかける。こんな時間が一番楽しい。ビオトープ周辺での植物観察では優雅に開いた蓮と睡蓮の花も楽しみ、葉に転がる水玉に興じながら、昆虫の嗜好植物の説明に耳を傾ける。



第二部、里山での活動(自然観察&里山遊び)。木登りやロープ渡り、ブランコなど元気いっぱい、やっぱり子どもは体を使って遊ぶのが一番。またいろいろ



んな葉っぱの説明を聞いたり、ウラジロ飛ばしで遊んだり親子共々いい勉強になったのでは？

午前中だけのイベントだったが、皆さん十分楽しんでいただけたのではないかと思います。最後にカブトムシと鹿の折り紙のお土産つき。

スタッフの皆さまありがとうございました。

